

ほほ月刊 んだもしたん

(諸県弁の「まあどうした事でしょう」)

発行 有限会社ナップ
編集責任 池田誠
発行日 平成二八年十月
問合せ先 〇九八五五一七四〇九

九州広告美術コンクール

第59回全九州広告美術コンクールが開催されます。(九月二十九日〜十月一日 宮崎市、宮崎中央公園)

九州広告美術コンクールは毎年九州規模で行われる大会で、持ち回りで毎年開催地が変わります。今年には宮崎県がホスト県となります。

開催される県によってさまざまなテーマが設けられ、去年は長崎「九十九島」についてでした。

作品は立看板・立体看板の二種に分かれ、100点以上の作品が開催地に集められます。

その中でいくつかの賞を決め、最も素晴らしいと評価された作品には、国土交通大臣賞が贈られます。

今年には宮崎が開催地になっており、「花旅みやぎ」がテーマで、たくさん作品が集まりました。

ナップからも立看板3点と立看板1点を出させてもらいました。

私は立看板を担当させてもらい、みんなで入賞を狙ってださせていたのですが入賞することができず...

当日は、表彰のお手伝いに徹することとなりました。

出す前には会社内で互いに意見を出し合う時間を設けたり、立看板は試行錯誤を繰り返しながら作品を作っていましたので、ぜひとも全ての作品が入賞してほしいという気持ちがありました。

しかし、世の中そんなに甘くは...ありませんね！

それでも、全ての作品とはいかなかったものの、なんとか二点の作品が、綾町長賞と宮崎県広告美術協同組合理事

長賞をいただくことができました。九州各県より、レベルの高



い作品が届く中での入賞は、とてもうれしいですね！

表彰式当日は、集まった作品を見ることもできたため、考えもしなかった手法やデザインからたくさん刺激をもらい、社員もまた来年に向けての気持ちが高まったことと思います。

来年こそはみんなで入賞！の気持ちでまた頑張ります！ (由)

ランチ野郎 見参!

「鹿児島中央駅に遊びに行ったら食べてみるべし」とんかつ川久の巻

以前の鹿児島中央駅は新幹線が通る前まで少し古いイメージがあり、遊びにくいところではなく、電車に乗る為の通過点でしかありませんでした。新幹線が開通してそのイメージを一新して、今では、天文館通りより賑やかかもしれません。

アミュープラザ鹿児島には色々なお店があり、鹿児島中央駅とアミュープラザには美味しいお店も沢山あります。

今回お勧めなのは鹿児島中央駅から徒歩で2〜3分のペル通りにある「とんかつ川久(かわきゅう)」です。

鹿兒島にはとんかつの美味しい店が沢山あって、「とんかつ川久」もその中の一軒に含まれます。

「とんかつ川久」では、渡辺パークシャー牧場の「鹿兒島産純粋黒豚」と、霧島熟成豚「ひなもりポーク」を使用し、肉は厚く、衣は薄くをモットーに、低温でじっくり揚げてお客様に満足いくとんかつを提供しております。(ペル通りホームページより引用)

お昼の営業時間は11:30分から15:00までになります。お昼時には店の前に行列が出るので、早めに行くか、遅めに行くか時間をずらして行ったほうが良いかもしれません。

もちろん、席に座って注文するのは「とんかつ...!」と思うかもしれませんが、実は、「とんかつ川久」で注文するメニューは「川久丼」200円です。

とんかつは個人的には以前紹介したことのある「とんかつ竹亭」の(上)とんかつ定食(1,000円)が好きです。

しかし、この「川久丼」は豚のいろんな味が楽しめるとってもお得な丼ぶりだと思っています。

キャベツの千切りが敷き詰めであり、その上にとんかつ、生姜焼き、豚の軟骨煮の3種類が乗っています。

とんかつも美味しいですが、生姜焼きも肉厚でとっても美味しいですし、何となくココの豚の軟骨煮はジュシーでトロツとしていて抜群に美味しいですよ！

そんな美味しい3種類を一度に食べることが出来る「川久丼」は最高だと思えます。

実は、以前「とんかつ川久」の別の店舗でとんかつを食べる時、地元の人「川久」を頼んでいる人が意外に多かったのです。きっと美味しいのだろーと思いい、次に来た時に注文したのがこの「川久丼」でした。

やっぱり、地元の人が食べているものに間違いはありません！



(大)

得意先より寄稿いただきました。 ちよっと、俺に書かせてん!

ほほ月刊「んだもしたん」初の試み、お取引先様より、コラムを頂戴する企画。それって丸投げ? いいえちがいます。書きたくてウズウズしている方、どうぞこのスペースをお使い下さいという気持ちなのです。我こそは! という方、弊社営業部長(編集長)まで、ご連絡お待ちしております。

先日の台風16号は久しぶりに宮崎を襲った大型台風でしたね。皆さんご無事だったでしょうか? 今回、私は初めて避難をしました。雨が凄かったので少し玄関を開けて見てみると、家の前が川: 避難勧告車も何台も出てるし車のタイヤも半分近くが水中! このままではヤバくいと思いいAM4時30頃、親の家に避難しました。私は大きな被害はなかったのですが、被害にあわれた方は大変だったと思います。改めて自然災害の怖さを知った台風でした。

さて、最近はずっかり涼しくなり今年の夏も完全に終わりを迎えてきました。



北一株株式会社 K

小中学校の運動会も終わり、日々秋めいてきましたね。秋と言えば何をするにもちょうど良い季節です。読書・食欲・芸術・スポーツ…。いろいろありますが、今の自分にはやっぱり運動の秋という事で、以前してました自転車通勤を再開させました(年内にマイナス5キロが目標)。本格的に再開するにあたりヘルメットを購入。恥ずかしいやらイキッてるやらで最初は抵抗もあったのですが、安全には換えられないので装着しています。

背中にバッグを背負って毎朝中高生とバトルしながら楽しく通勤しています。

皆さんも〇〇の秋を見つけて楽しんでくださいね。

いんちきクワイマーが行く! 「梅雨空を背負って 双石山①」編

自宅から40分。身近で手軽に行くなら加江田溪谷。その山群のひとつである双石山へ。コースに取りつく。機関車梅雨空の下、登山口に駐車して車の台数も少ない。空は今にも泣きださそうである。湿度・気温ともに高いけれど、それもまた良し。いざ出発。沢沿いの、うっそうとした樹林帯を登っていく。歩幅を小さく刻んで、腕を組んで、極力省エネ歩行。:しかし、どんなに省エネしても、汗は吹き出す。ダラダラとつたうするとそこに小さな虫達がブンブンと寄ってくる。夏山ならではの。じゃまくさい。足元は滑りやすく、普段よりも時間をかけて慎重に進む。

ようやくステンレス梯子が見えてくる。この山域は徳蘇山系と呼ばれているが、この山もアルミハシゴだ。唯一この双石山のみに、ピカピカ光るステンレスハシゴがあるのだ。その先の、大岩展望に上り、一休みして汗をふこうと思ったが、ずいぶんとにぎやかな声が、大岩から聞こえてくる。案の定、岩の上は登山者で混雑。10名ほどの



双石山(賢)

老若男女でぎゅうぎゅう。そのままスルーして、尾根のコースに取りつく。機関車のごとく、ガシガシと岩を攀じっていったが、さすがに息が切れて、青息吐息でなんとか第二展望所へ。やっとここで一休み。すでにシャツは汗でビしょリだ。

おやおや、後ろから、二人のかわいらしい「ヤマガール」がやってきた。それが生息しているとは知っているが、なかなか遭遇できそうではない、貴重種との邂逅だ。

一言、二言、言葉を交わして、この場所は彼女らに明け渡し、奥にある第三展望所へ。ここで本格的にひっくり返る。けっこう息が上がっていたのだけれど、若い女性の前でバテた姿を見せたくなかったというだけの事。あーしんどい。大休止なのだ。飯を食い、珈琲を飲み、ああ山は素晴らしいと一人満喫。さあ行こう。双石山は、稜線にたどりの着いたら、あとは山頂までほゆるやかなアップダウンが続く。それなりに快適に尾根道を歩く。しかし油断してはいけな

編集後記

秋の気配を感じる季節になりましたが、まだまだ日中は暑い日が続いていますので、体調管理には十分に気を付けて下さい。さて今回は、読者様から頂いた記事始めて記載させて頂きました。んだもしたんも毎回当社の社員だけのコラムで、マンネリ化しそうだったので、とても新鮮に感じます。これから先のんだもしたんも、読者様のコラムやお取引先の商品紹介、身近な情報など色々な記事を書かせていきますので、発刊を楽しみに待っていて下さいね。

いよいよ10月23日は、社員総参加の綾葉樹林マラソンがあります。私は5キロの部に参加ですが、この前練習で500m走ったら、足が前に進まなくなりました。これでは5キロも走れる訳がないので、参加するのが怖いです。しかしまだ本番まで3週間あるので、何とかなると軽く考えています。結果は次回号で! (誠)